



Osamu Envision Technology Inc.
株式会社オサムインビジョンテクノロジー

VQSコラボ電子会議システム VQSCProxy機能について (2006.07.14)

- ◎高音質
音楽圧縮技術「TwinVQ」
- ◎高画質
映像圧縮技術「H263+」
- ◎暗号対応
欧州推薦暗号・電子政府推奨暗号「Camellia」
- ◎ネットワーク負荷分散
お客さま専用「VQSコラボルームソフト」をご提供
- ◎アプリケーション共有

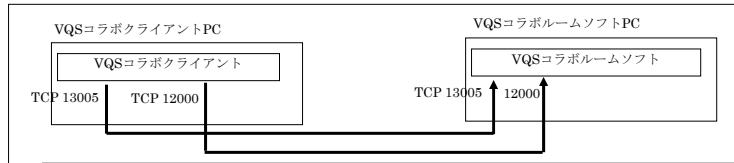
株式会社オサムインビジョンテクノロジー

VQSコラボシステムではクライアント・ルームソフト間の接続に2個のTCPポートが必要ですが、VQSCProxy機能を使うことによって**1つのTCPポートのみで会議に参加できるようになります。『ケース1』**

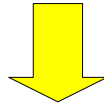
また**本機能はHTTPプロキシに対応**しているので、HTTPプロキシサーバがポートを1つ(例えば443)許可をしている環境であれば、VQSコラボクライアントを使って会議に参加することができます。『ケース2』

本機能を使用することによりアプリケーション共有オプション(NetSupportManager VQSコラボ対応版)もHTTPプロキシサーバ経由で動作するようになります。『ケース3』

VQSコラボシステムの基本的な接続方法(HTTP Proxy未使用時)

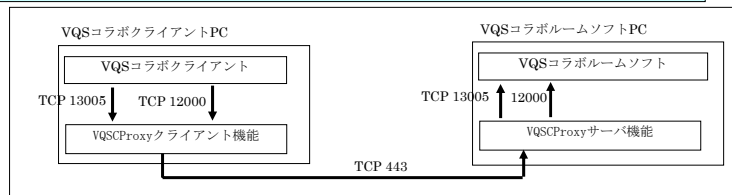


クライアントから13005、12000の**2つの**TCP/IPポートを使って接続を行います。



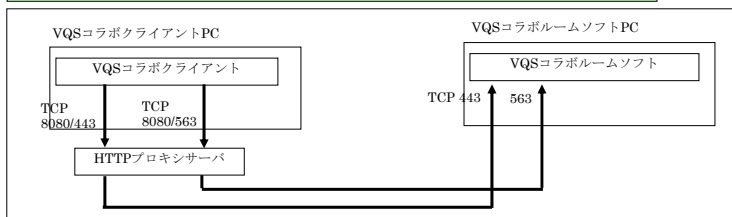
『ケース1』

VQSCProxy機能を有効にした場合の接続方法(HTTP Proxy未使用時)



クライアントから**1つの**TCP/IPポート(例443)だけを使って接続を行います。

VQSコラボシステムの基本的な接続方法(HTTP Proxy使用時)

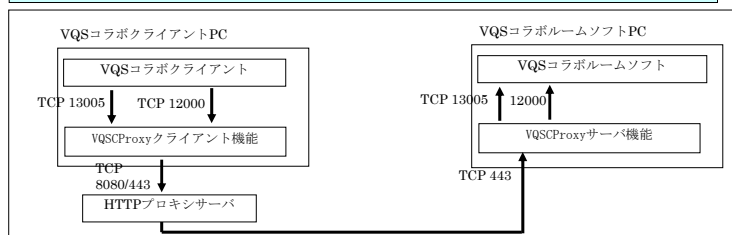


HTTP Proxyサーバが許可をしている**2つの**TCP/IPポートを使って接続を行います。



『ケース2』

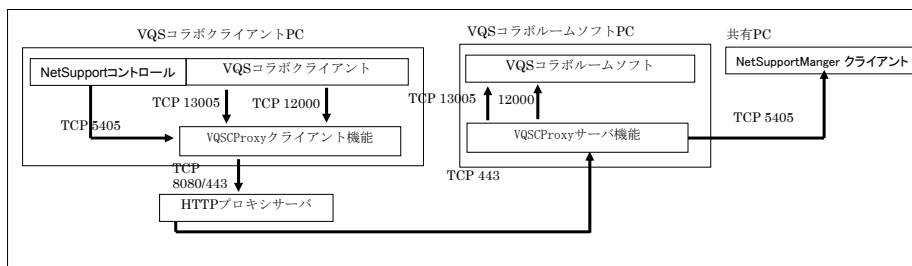
VQSCProxy機能を有効にした場合の接続方法(HTTP Proxy使用時)



HTTP Proxyサーバが許可をしている**1つの**TCP/IPポートを使って接続を行います。

『ケース3』

VQSCProxy機能を有効にした場合の接続方法(HTTP Proxy使用時)
アプリケーション共有オプション



HTTP Proxyサーバが許可している1つのTCP/IPポートを使って接続を行います。

VQSCProxy機能を使う

1. VQSCProxyを使うときはクライアント、ルームソフトの両方に設定を行ってください。
(次ページ以降で設定方法を解説します。)

2. 各設定と通信状態
「VQSCProxy設定あり」のルームソフトを用意すると、クライアント側の設定に関わらず通信ができるようになります

| クライアント側 VQSCProxy設定 | ルームソフト側 VQSCProxy設定 | 接続できるか | 使用するポート |
|------------------------|------------------------|--------|--------------|
| なし | なし | ○ | 12000, 13005 |
| なし | あり | ○ | 12000, 13005 |
| あり | あり | ○ | 443 |
| あり | なし | × | |

VQSCProxyをポート443で使用する場合

ルームソフトでVQSCProxy機能を設定する 1)

『ケース1』『ケース2』

「VQSCProxyを使用する」にチェックを入れます。
待ち受けをするポートを443(HTTPSにしておくのが良いでしょう。)と入力し、「追加」をクリックすると、「一覧」に登録されます。
また、このポートは複数登録が可能です。
※ ポート443はHTTPSです。同じPCにWebサービスが動作していると起動時に失敗をしますのでご注意ください。
Webサービスを停止してください。

ルームソフトでVQSCProxy機能を設定する 2)

『ケース3』

アプリケーション共有機能をご契約頂いているお客様は、この接続に対してもVQSCProxy経由での接続が可能となります。

前ページで「VQSCProxyを使用する」にチェックを入れておくと、本設定にて「アドレス」入力Boxが有効になります。
このアドレスには「ルームソフト」から見た時の「アプリケーション共有PC」のアドレスを入力してください。

クライアントでVQSCProxy機能を設定する

詳細

指定ルームソフトへの接続
 常に指定のルームソフトに接続する
アドレス

HTTPプロキシ
 HTTPプロキシサーバを経由で接続する
アドレス ポート 8080
 接続コードとパスワードを使用する(オプション)
ID パスワード

VQSCProxy
 使用する
ポート 443

OK キャンセル

『ケース1』

チェックウィザードを起動し、「ポート接続テスト」ページにて「詳細」をクリックします。

「使用する」にチェックを入れ、「ポート」に入力をしてください。

※ポートに関しては、ルームソフトの設定と同じものを入力します。

ほとんどの場合443で問題ありませんが、つながらない場合はルームソフトの管理者にご確認ください。

詳細

指定ルームソフトへの接続
 常に指定のルームソフトに接続する
アドレス

HTTPプロキシ
 HTTPプロキシサーバを経由で接続する
アドレス [192.168.1.123] ポート 8080
 接続コードとパスワードを使用する(オプション)
ID パスワード

VQSCProxy
 使用する
ポート 443

OK キャンセル

『ケース2』『ケース3』

環境によってはHTTPプロキシ経由でのみ、インターネットに接続を許可されている事があります。

その場合は従来からの機能「HTTPプロキシ経由」を併用して頂く事が可能です。

お問い合わせ



■ 当社製品に関するお問い合わせ先

株式会社オサムインビジョンテクノロジー

京都市中京区烏丸通二条上ル蔭絵屋町263京楽烏丸ビル501号

Phone : 075-254-5300

FAX : 075-254-5305

URL : <http://www.osamu.co.jp/>

Email : vqscollabo@osamu.co.jp

VQSコラボ紹介ページ

<http://www.vqscollabo.jp/>